

女性活躍推進事業【名張市】

地域の実情と課題

名張市「男女共同参画に関する市民意識調査」（平成26年）によると、意識としては男女共同参画を理想とするが、実態が伴わず、女性の社会進出の妨げの一因となっている。

※家事についてどのように行うべきかという質問に対し、「男性、女性が分け合って行う」が43%。一方で、食事の支度を行っている夫は3.8%、食事の後片付けを行っている夫は9.4%。

事業の特徴

共働きの男性などに対して、料理の基本や楽しさを伝えるとともに、社会での経験も豊富な講師から、家事と仕事を両立することの大変さや、男性の家事参画が男女の支え合いに極めて重要であることなど、料理と男女共同参画を絡めて講話を行った。

事業の効果

アンケートによると、教室へ参加するまで、家事を役割分担していなかった参加者は4割存在したが、教室への参加をきっかけに、家事を見直していこうとする男性が全体の8割以上を占めた。

目的・目標

女性の社会進出に資することを目的に、男性に向けた料理教室を開催。料理をきっかけに、男性の育児や家事への参画、職場や地域での助け合いに繋げ、当市における女性活躍推進を更に発展させる。

さらに、男性のワーク・ライフ・バランスをより促進し、温かなまちづくりへと結びつけていくことも目的としている。

連携団体

- ・名張近鉄ガス株式会社
- ・名張市男女共同参画センター
- ・三重県

今後の課題

公民館や民間事業所において、既に同様の「男の教室」が開催されている中、今後は、これらの情報を集約して情報提供したり、実施を働きかけていったりするなど、「男の料理教室」をはじめとする男性家庭参画推進事業を地域に広げていく必要がある。

レポート「オトコの料理教室」



共働き世帯の男性など延べ39人が参加した「オトコの料理教室」(全4回)。参加のきっかけは、「妻の提案で」「以前から料理教室に参加してみたかった」「子どもと参加したい」「週末ぐらいは料理をしたい」などさまざま。講師の秦佐知子先生(名張近鉄ガス株式会社専属講師・辻クッキングスクール心斎橋校元校長)からは、男性の家事参画の必要性や家事参画をするうえで必要となる計量の仕方や野菜の切り方など豆知識を交えてお話いただきました。手際よくとはいかなかったかもしれませんが、互いに協力しながら次々に料理を作り上げ、「自分らで作った料理はおいしい」などと話しながら、料理を堪能。後片付けまでをきちんと実践しました。

アンケートによると、教室へ参加するまで、家事を役割分担していなかった参加者は40%存在しましたが、教室への参加をきっかけに、家事を見直していこうとする男性が全体の8割以上という結果に。また、「積極的に料理や家事に参加していきたい」「どれも簡単で必ず実践したい」「料理のレパートリーが増えたり、他の人と交流ができたりするので、すごく充実している」「会社がもっと積極的に理解し、協力する仕組みが必要」などの声もあり、男性の育児や家事への参画、職場や地域での助け合い、また男性のワークライフバランスの促進に寄与したと考えられます。